



小郡市立大原中学校だより

# 大為小積



令和2年霜月2日

第13号

校長 矢野 晴一

学校教育目標：「目的意識をもって自ら学び心豊かにたくましく生きる生徒の育成」

## 「文化の歩みをとめない！」 ～ 校内文化発表会 開催 ～



本年度の校内文化発表会は、例年通りとはいかないものの、予防対策をきちんと行っただけで、10月21日（水）に学年別の合唱コンクールを開催することができました。各学級とも、悩んだりぶつかったりしながら集団の力を高め合ってきたこれまでの取組の姿がわかるとてもすてきなハーモニーを奏でることができました。

各学年の金賞受賞学級は次の通りです。 **1年の部 3組「夢の世界を」「旅立ちの時」**  
**2年の部 1組「あすという日が」「明日へ」** **3年の部 2組「モルダウの流れ」「証」**

翌週26日（月）には、吹奏楽部による屋外コンサートと3年金賞学級合唱披露を行いました。本校ならではの工夫で、中庭とベランダを使って行いましたが、迫力ある演奏に心が震えました。

また、感染拡大予防制限のため、「市郡合同文化発表会」の開催は断念せざるをえませんでした。何とか子どもたちの発表の場をと考え抜いて、市郡中学校の「**文化部活動の発表交流会**」という形で10月23日（金）に開催しました。本校からは、吹奏楽部が「ステージの部」に参加しました。

美術部の絵画や授業で制作した作品は、「展示の部」において10月23日（金）～11月2日（月：本日）まで市文化会館や生涯学習センター等に展示され、市民のみなさんの目を楽しませることができました。

「前進」の言葉を胸に響かせる  
できることを探し続けて 晴一

## 「入賞おめでとう！」 ～ 市郡・筑後地区音楽創作コンクール入賞 ～

本年度の「市郡音楽創作コンクール」において、5名の子どもたちが入賞することができました。

また、2年生の **さん**の作品は、筑後地区創作コンクールで、**銅賞**を受賞することができました。

さまざまな点で制限を受ける中で、自ら進んで取り組んでくれた子どもたちのがんばりに対して高い評価をいただいたことを心からうれしく思います。

本年度はステージで披露することはできませんが、文化発表会の期間中、展示会場にて入賞作品の音源をCDで流し、みんなが聴くことができました。

これからも子どもたちのすてきなチャレンジに期待したいと思います。



学年	賞	小郡市・三井郡入賞者 (筑後地区審査結果)
1年	佳作	
2年	入選	
	佳作	
3年	佳作	

## 「仲間と力を合わせて、全力で<sup>たすき</sup>襷をつなぐ・・・！」

### 市郡・筑後地区駅伝競走大会 開催

10月17日(土)、中体連市郡駅伝競走大会が開催され、本校から7チームが出場しました。

男子は、Aチーム4位、Bチーム9位、Cチーム10位、女子は、Aチーム4位、Bチーム7位、Dチーム8位、Cチーム9位という結果でした。また、その中で3年生の **さんが2区で第3位に、2年生のさんが1区で第3位、さんが3区で第3位に入賞しました。**

10月27日(火)には、筑後地区中学校駅伝競走大会が大牟田市諏訪公園内周回コースで開催されました。結果は、**女子が11位、男子が15位**、でした。子どもたちが、自校の襷をつなぐために懸命の走りを見せてくれたことがうれしくてたまりませんでした。

この夏から、制限された中でできることを考えて走り続けた子どもたちでした。3年生は、受験勉強と両立しながらの取組でした。子どもたちの健闘に惜しめない拍手を送りたいと思います。

## 「大舞台で大健闘でした！」

### ～ 福岡県新人陸上競技大会 開催～

10月24日(土)、福岡県中学校新人陸上競技大会が博多の森陸上競技場で開催されました。

本校からは、1年生の **さんが走り幅跳びに出場しました。結果は予選で9位**という成績でした。あとほんの少しで決勝進出とはなりませんでしたが、たった一人で県大会の大舞台に立ち、自分のもてる力を精いっぱいに出すことができた庄嶋さんの健闘を心から称えたいと思います。

## 「学びの秋！」チューター大原中、3年生の部スタート

10月28日(水)、「チューター大原中」で3年生の学習がスタートしました。参加している子どもたちそれぞれが自分の課題を設定し、黙々と真剣に学習に取り組む姿に、「さすがは3年生！」と思わずうなっていました。

これまで**仲間とともに**たくさんの汗を流してきた3年生です。これから、自分の進路をみつめながら「**団体戦の意識**」で懸命に学習に取り組んでいく子どもたちを精いっぱい応援していきたいと思います。

## 小さいけれど大きな感動・・・その14 さりげない心遣い

ある日、学校に勉強道具をとりに来た子どもが、帰り際に再度「**あいがとうございました**」と言うために校長室を訪れてくれました。私は、何とも言えない温かい気持ちに包まれ、担任の先生にその出来事を伝えると、「そうですか。その子は、掃除のときなどに、さりげなく手伝ってくれたりするんですよ」とうれしそうな表情で話してくれました。

また、ある日、早朝に教室を見に行くと、勉強するために早く登校した生徒が教室の窓を開けてくれていました。朝日をあびたその姿が、私にはとても美しくみえました。

あらためて、「**人の心を温かくするのは、何も特別なことではない、日常の何気ない場面での、さりげない心遣いの行動やさりげない言葉なのだ**」ということを教えてもらったような気がして、なんだかうれしくなりました。

